

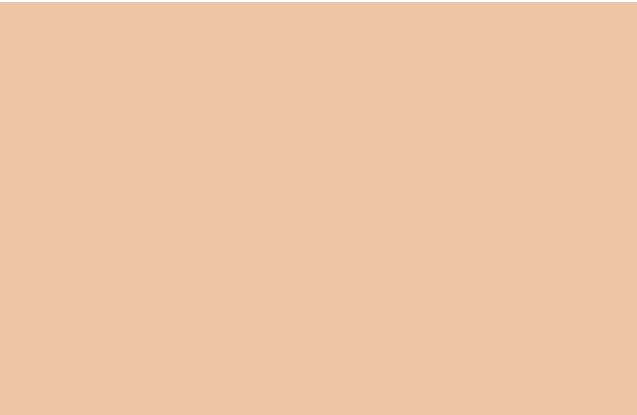
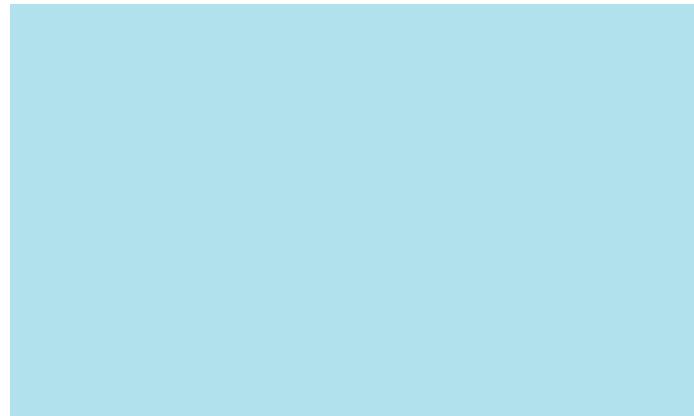
Annual Report

2024

2024年度 藤沢市市民活動支援施設 管理運営事業報告書

(市民活動推進センター・市民活動プラザむつあい)

まちづくりへの参加につながる場から



藤沢市市民活動支援施設 指定管理者
認定特定非営利活動法人 藤沢市民活動推進機構

もくじ

● 藤沢市市民活動支援施設って、こんなところ！	p.2
● こんな団体が登録しています！	p.3
● 2024年度の活動の振り返り（総括）	p.4
● 施設の利用状況	p.5
● 各施設TOPICS	p.6
● 実施講座		
--推進センター	p.7
--プラザむつあい	p.8
● 交流イベント		
--推進センター	p.9
--プラザむつあい	p.10
● ネットワークの構築	p.11
● アウトリーチ活動	p.12
● ワカモノ×NPO インターンシッププログラム	p.13
● 相談・コーディネート	p.14
● 情報の収集・発信		
--発行物	p.15
--持ち込み情報	p.16
● 支援施設でボランティアをしませんか？（サポートクラブ活動）	p.17
● 次年度に向けて	p.18

藤沢市市民活動支援施設って、こんなところ！

支援施設である「藤沢市市民活動推進センター（以下、推進センター）」、「藤沢市市民活動プラザむつあい（以下、プラザむつあい）」は、公益的な市民活動の推進や、市民活動団体の自立化を応援することを目的に藤沢市が設立した施設です。現在、特定非営利活動法人 藤沢市民活動推進機構（以下、推進機構）が指定管理者として管理運営を行っています。

推進センター



プラザむつあい



施設の利用には
登録が必要です！

施設の管理・運営

打ち合わせや交流などのための場所の提供、印刷機や各種備品の貸出しをしています



支援施設の5つの機能

相談・コーディネート

市民活動やボランティアを始めたい方、助成金を利用したい団体などの相談に対応しています



情報の収集・発信

助成金情報やイベント情報、ボランティア募集情報などを収集・発信しています



協働の推進

地域や企業、教育機関など、他セクターとの連携や協働の橋渡しをしています



人材育成

講座や交流会、サポートクラブなどを通じて、知識・スキルの向上を目指しています



こんな団体が登録しています！

藤沢市内では、皆さんの生活をより良くするため、たくさんの市民活動団体やNPO団体が活動をしています（藤沢市所管のNPO法人は、市内に188団体あります）。

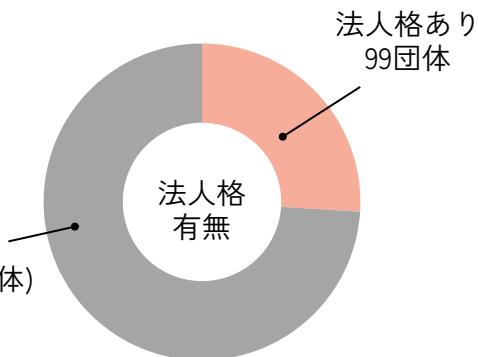
また、藤沢市市民活動支援施設には、法人格を持つ団体と持たない団体（任意団体）をあわせて計381団体登録しています。（※数字はすべて2024年度末時点）

登録団体数：

381 団体

※2024年度末時点

法人格なし(任意団体)
282団体



法人格の種類

- ・特定非営利活動法人
- ・一般財団法人
- ・一般社団法人
- ・公益財団法人
- ・公益社団法人

＼読書を通じてチチ社会貢献！／



＼湘南ならではの活動をしたり...／



＼里山保全を通してリフレッシュ！／



＼交通安全に関する活動も！／



興味のある団体を
探すならここから！

他にも福祉・文化・環境・子ども・まちづくり・国際など、
様々な分野で活動している団体が登録しています。



<https://fujisawa-npo.jp/group>

2024年度の活動の振り返り（総括）

年次目標：

共感 ー共感を育むコミュニケーション空間を創るー

2024年度、当施設の年度重点取り組み目標は「共感 ー共感を育むコミュニケーション空間を創るー」としていました。目標設定の趣旨は、**市民が参加しやすい機会を多く作り、実際に団体と接する機会を提供すること**です。2025年3月現在、藤沢市の人口はいまだ増加を続けており、さらに2024年度の観光客数は初めて2000万人を超えて過去最高の2040万人となりました。藤沢市に関わる人が更なる多様化を続けるなか、市民活動団体の動きもより広汎になることが求められているといえます。前年度に引き続き、広報関連の講座を充実させるとともに、団体と市民の接点づくりを意識して事業を進めてまいりました。

【団体の支援】

ボランティア講座のほか、SNSや広報関連ツールなどに関する講座、協働推進のためのイベント・講座実施、地域市民の家予約システム変更に伴うサポート

【団体と市民との接点づくり】

現役世代の方も参加できる夜実施の交流機会提供事業、市役所1階ラウンジ・湘南台駅地下通路での団体展示の実施、団体PR動画の放映

2024年度は能登半島地震、豪雨被害や大船渡市周辺での森林火災など、国内では改めて防災意識が高まり、地域でのつながりの重要性が認識された年となりました。施設でも協働に関する事業や団体と市民の接点づくりを通じて、市民活動団体が地域の人をつなぐ結節点たりうるよう支援をしてまいりました。

上記のとおり、年次目標に沿いつつ、前年から引き続き広報力の強化と広報機会の提供に努めました。また、地域への市民活動の浸透を進めていく下支えを行ってまいりました。



団体パネル展示 トークイベント
(2024年11月4日 / 湘南台駅地下アートスクエア)



スピーチ大会企画会議・準備の様子
(2025年2月21日 / 湘南台公民館)

施設の利用状況

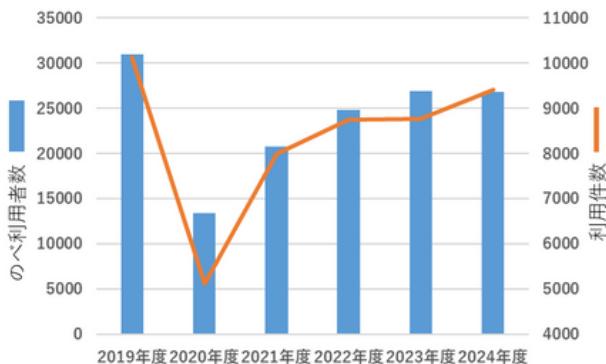
支援施設全体

のべ利用者数：
26,780人

利用件数：
9,418件

登録団体：
381件

【のべ利用者数・利用件数推移】



アフターコロナが日常となってから2024年5月で約1年が経過しました。昨年度に比べて支援施設の利用者数は微減となりましたが利用件数は増加しており、市民活動が日常に戻ってきていることがうかがえます。

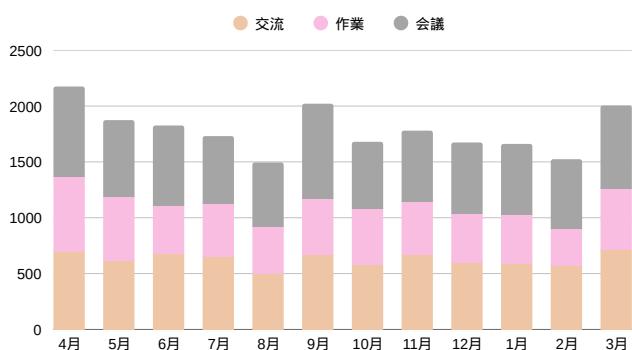
引き続き、皆様が快適にご利用いただけるようにご協力をお願いいたします。

推進センター

※休館日：火曜日

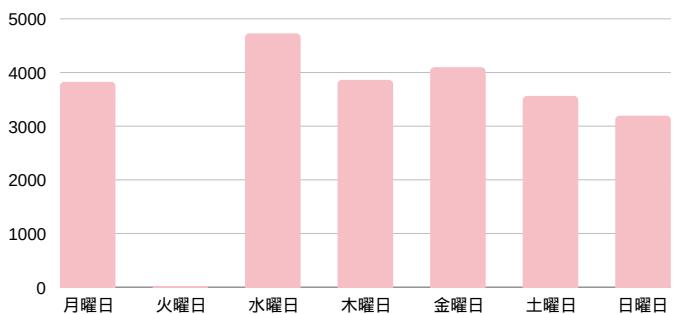


【月別利用人数】



2024年度は、総会準備が多い4月、秋のイベント準備の多い9月、次年度の準備の3月で利用者数が多い結果となりました。また、8月は暑さやお盆時期の影響で例年のように最も利用者数が少ない時期となっています。

【曜日別利用人数】



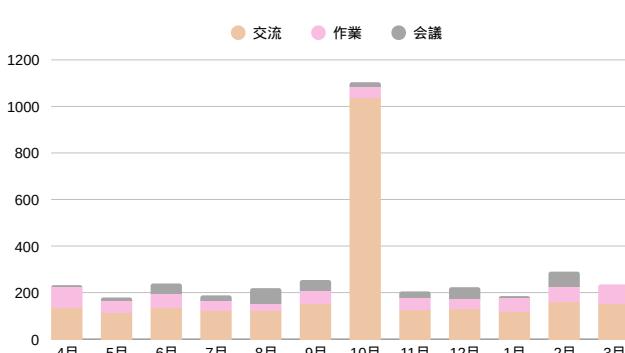
前年度に続き、休館日の翌日にあたる水曜日の利用がもっとも多い結果に。また、昨年と異なり、土日よりも平日の利用者数の方が多い結果となりました。

プラザむつあい

※休館日：月曜日



【月別利用人数】



10月の利用人数については、10/19・20に六会公民館ふるさとまつりが開催され、プラザ室内において交流企画が実施されたため突出。これを除外すると、他の月と同程度の利用人数に。

【曜日別利用人数】



左記イベント開催に伴い、日曜日の利用者が増加。前年度に引き続き、学習支援団体による利用が多い傾向。

各施設TOPICS



推進センターより



推進センターでは、年度のはじめにボランティア講座を実施したほか、SNS、デザインツール、写真撮影など広報に関する講座を実施しました。

交流機会提供事業においては、夕方以降、現役世代も参加しやすい時間に、団体にスポットライトを当てる「夜活フジサワ」を実施したほか、市内で他団体等と協力しながら事業を進めている団体をお呼びして協働をテーマとしたクリスマス交流会を実施しました。

神奈川県との事業である「企業・NPO・大学・市民のためのパートナーシップミーティング」、協働入門講座もクリスマス交流会から数えて3ヶ月連続で行い、団体が地域の中でのつながりづくりを行うにあたっての交流や意識づくりの場を提供しました。

施設としてもWEB上や施設外など様々な場を用いて、団体について市民が知る機会を増やしてまいりました。新規に開始した方法や継続して行っている方法を含め、PR動画の制作・放映や展示機会の提供、藤沢市民まつりでの出展、SNSでの拡散などを行いました。

2023年度、2024年度は市民に団体の活動を伝える力を育むことや、団体が地域に積極的に関わることが出来るための下準備の年としておりました。今後も地域の中で市民活動団体が力を発揮していくけるよう、支援を続けてまいります。



プラザむつあいより



プラザむつあいは、市民活動やボランティアに触れる最初の一歩として、気軽にご参加いただけるような企画を心がけました。SDGsを身近に感じてもらえるようなハーブやコーヒーをテーマにした交流会等を実施し、市民活動のことを考えるきっかけづくりを行いました。

また、各地区における課題解決や地域で活躍する人材育成の事業として、公民館等からの依頼により、地域のDX支援や講師の紹介及び派遣、イベント支援等を行いました。このようなアウトリーチ活動は、支援施設の認知度を向上させる取り組みとしても位置付けています。

2024年度は、「共感」をテーマに市民活動団体の理解がより進み、活躍できるまちづくりを目指し、推進センターとともに市民活動の支援を各事業を通して実施してまいりました。

次年度は推進センターと力をあわせて団体の活動や魅力がより「発揮」される機会提供や支援に努めてまいります。



実施講座（推進センター）

2024年度は、団体の情報発信能力向上を目指した広報関連の講座のほか、ボランティアを始める方向けの講座、協働入門講座を実施。団体の新たな関係作りに資する内容を重視しました。IT講座に関しては基礎重視で、パソコンを用いた事務能力の底上げを目指しました。

	マネジメント講座	IT講座
4月		
5月		Word①
6月	ボランティア	Word②
7月	SNS	Excel① Excel②
8月		
9月	Canva	Windows
10月		
11月	写真撮影	Google
12月		PowerPoint① PowerPoint②
'25.1月25日		
1月		
2月	協働	ホームページ① ホームページ②
3月		

ボランティアに興味がある人のほか、\藤沢市のことを探りたい人も参加！／



ボランティア講座

参加者はオンラインを含めると65名！\デザインへの関心の高さが伺えました／



Canva講座



PowerPoint講座

Q
どこで講座の案内が見られるの？
どんな人が講座を受けられるの？



A
支援施設のHPや広報ふじさわなどで講座情報を発信しています。公益的な市民活動や地域活動に関わる講座も多いですが、ご興味のある方であれば、受講していただけます。



実施講座（プラザむつあい）

「プラザde学ぶ」というタイトルで、主に市民活動団体の組織基盤強化や団体スタッフのスキルアップのための学習機会を提供しました。2024年度は、広報力強化に向けた3回連続講座、関連して広報やPRの実践の場として、湘南台駅地下でのパネル展示とトークイベントを実施しました。

3回連続講座 「広報したいこと」を考える (2024年8月3日、24日、9月7日)

プラザde学ぶ3回連続講座「『広報したいこと』を考える」を8月3日、24日、9月7日に開催しました。市民活動団体が活動していく上で非常に大事なのが「広報力」と考え、本講座では、「事業の組み立てから広報物の作成」までを3回に分けて解説しました。



【講座関連企画：湘南台駅地下パネル展示】

(展示期間 2024年10月27日～11月4日)

市民活動パネル展示は、団体同士の交流の場、活動を多くの人に知ってもらうための情報発信の場として、湘南台駅地下アートスクエアで開催しました。23団体が掲示ボード970mm×1700mmの大きなパネルを作成し展示を行いました。設置した配架ポケットからの配布実績は9日間で約800枚となりました。



トークイベント「ボランティアの20の入り口」 (2024年11月4日)

市民活動団体のそれぞれの活動を知り連携を進めることや、そのことにより活躍する市民活動団体が増え、市内を中心とした市民活動が活性化することなどを目指して実施しました。参加者は概ね100名で、トークだけでなくパフォーマンスもあり、盛況でした。



【プログラム】

- ・パフォーマンスによる活動紹介
- ・実演による活動紹介
- ・団体活動に関わる人たちによる団体の活動紹介
- ・合唱や演奏会を行っている団体のパフォーマンス発表



交流イベント（推進センター）

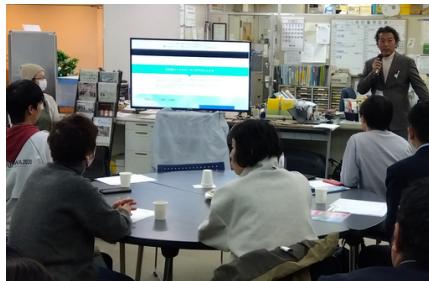
まちづくりでつながる クリスマス交流会

(2024年12月14日)

2001年12月に施設が開館したことになります、推進センターでは毎年12月に「クリスマス交流会」を開催しています（周年事業実施時を除く）。2024年度は、藤沢市や周辺地域での協働事例についてお話しいただきました。

【プログラム】

- ・藤沢市長あいさつ
- ・基調講演
- ・事例発表
- ・交流タイム



事例発表



交流タイム

夜活フジサワ～「海ゼミ！！」学長が語る海の学び場～

(2024年11月20日)

”海をもっと楽しもう！”をテーマに掲げて子どもからシニアまで、誰もが入学できる海の学び場「湘南ビジョン研究所」を運営する湘南ビジョン研究所の片山清宏氏をゲストにお招きし、ゲストトークとワークショップを実施しました。その後の交流会ではゲストトークの感想に加え、参加者それぞれの湘南の海への想いや若者の海離れについて語り合い充実した時間になりました。

【プログラム】

- ・ゲストトーク①
- ・ゲストトーク②
- ・交流タイム



ゲスト：片山清宏氏
(NPO法人湘南ビジョン研究所 理事長)



交流タイム

パートナーシップミーティングin 藤沢 —ワカモノと考える湘南のSDGs—

(2025年1月29日)

神奈川県NPO協働推進課との共同イベントとして実施し、3団体が事例発表を行いました。そこからの気づきを踏まえ、参加者・登壇者が一緒になって、SDGs達成のためのディスカッションが行われました。

【事例発表】

- ・SFC-IFC
- ・一般社団法人4Hearts
- ・株式会社 藤沢ミシン商会





交流イベント（プラザむつあい）

市民活動参加のきっかけづくりとして、身近な話題をテーマに、気軽に参加できることを目指した交流イベント（プラザdeカフェ）を企画。シリーズ「身近なSDGs」では、各分野における市民活動団体の活動がSDGsに繋がっていることを知ってもらうことを目的に、2022年度から実施しています。

4月	～身近なSDGs～ コーヒーのほろ苦い話
5月	
6月	
7月	
8月	～身近なSDGs～バランゴンバナナすごろく 六会・湘南台2会場
9月	
10月	～身近なSDGs～ こねこねせっけんづくり デコパージュ
11月	
12月	～身近なSDGs～ ハーブを楽しむ
'25.1月	
2月	～身近なSDGs～ 絵本でつなぐインドネシアと藤沢
3月	～身近なSDGs～ [出張]コーヒーのほろ苦い話



バランゴンバナナすごろく



気軽に楽しくこねこねせっけん



インドネシア民族舞踊



コーヒーのほろ苦い話

＼参加者の声／



地域貢献について関心があり、現在活動を行っている団体の実態を少しでも知ることができたらと考えて参加しました！



知らないことを知る！分かる！って、いくつになんてうれしいことですね。

ネットワークの構築

地域との交流

長後ボランティアまつりや藤沢市民まつり秋葉台会場など、地域で活躍する地縁団体をはじめ、市民活動団体のPRをするとともに、出展団体同士が顔を合わせて交流できるイベントに参加してきました。出展内容やPRを行う企画などを通じて延べ21団体のコーディネートを実施しました。

藤沢市民まつり秋葉台会場

(2024年9月21日)



出展団体の様子

「地球と暮らす・私たちのできること」をテーマに開催している藤沢市民まつり秋葉台会場に、9団体が出展。自然豊かな会場で、野菜の販売やSDGs クイズ、謎解きラリーや未利用バナナ展示など多種多様な催しで活動のPRを行っていました。

長後ボランティアまつり

(2025年2月23日)



ブースの様子

長後市民センターの体育館と敷地内にて、地域で活動する12団体がブース出展しました。参加された地域の方々に向けて、活動紹介を行い、ボランティアとして地域に携わることのやりがいや楽しさを伝えていました。

第10回 外国人の日本語スピーチ大会in湘南台 いろんな国の人への話を聞こうよ

(2025年3月1日/湘南台公民館 地下 体育館)

日本語支援を行う市民活動団体にて日ごろ日本語を学んでいる生徒が、自分たちの想いを地域の方々に語るスピーチ大会を実施。登録団体とプラザむつあい・湘南台公民館が連携をして実施しています。



会場の様子

市内の外国籍に関わる方々や、支えている市民活動団体の活動を広く理解していただき、多文化共生社会を目指す機会としています。また、イベントの実施にとどまらず、企画会議ごとに団体の情報交換や活動相談をする場としても機能しています！



アウトリーチ活動

市内の公民館・市民センター等のニーズに応えて、講座の実施や講師となる団体の派遣、依頼元施設のサポートなどを行っています。実施内容はIT関連、SDGs、人権講座などをはじめ、施設・登録団体によって多岐にわたる支援サービスを提供しています。

主なアウトリーチ支援先

4月	
5月	
6月	
7月	スマホ連続講座 2回 (片瀬)
8月	
9月	ボランティア講座 (長後)
10月	やすらぎ祭 (やすらぎ荘)
11月	スマホ基礎講座 (善行)
12月	
'25 1月	
2月	善遊サロン文化コース第4回 (善行)
3月	スマホ講座 (善行)



スマホ連続講座 (片瀬)



ボランティア講座 (長後)



スマホ連続講座 (善行)



やすらぎ祭 (やすらぎ荘)

【2024年度アウトリーチ支援先及びのべ実施回数】

- ・片瀬公民館 2件 ・長後市民センター 1件
- ・いきいきシニアセンターやすらぎ荘 (藤沢市社会福祉協議会) 1件
- ・善行団地自治会 1件 ・善行公民館 1件
- ・善行地区社会福祉協議会 1件

ワカモノ×NPO インターンシッププログラム

高校生～大学院生までのインターン生（ワカモノ）が市民活動団体でインターン活動を行うプログラムです。指定管理者の藤沢市民活動推進機構が実施する次世代人材の育成事業と並走する形で、施設として団体のマネジメント能力の向上等につながる事業を実施しています。具体的には、オリエンテーションなど団体とワカモノ及び団体同士の顔合わせの場を提供しています。また、団体への活動訪問を実施し、担当者の方より活動の様子や悩み事等をヒアリングしています。その他、受入のための計画やワカモノとの接し方等、必要に応じて個別にサポートを行いました。



※上記のうち太字部分は施設事業の関連内容、細字部分は指定管理者事業の関連内容となります。

受入団体はワカモノから刺激を受けることで、活動の活性化に繋がります。広報物の作成や新しい企画の創出をワカモノが担うなど、団体への寄与度も高い事業となっています。2024年度は受入団体座談会・成果発表会で顔を合わせる場面では、団体同士の交流の機会を作ることができました。

今年度は9団体で9名のワカモノを受け入れていただきました。団体からは「インターン生の成長をスタッフみんなで支えていく団体の雰囲気ができた」や「若者の視点で、わかりやすい資料を作ってくれた」などのコメントをいただいています。

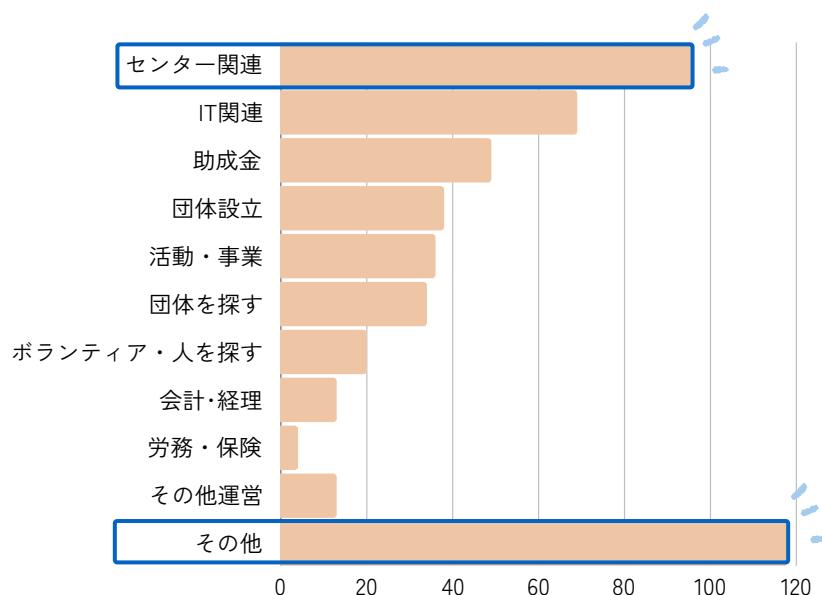
相談・コーディネート

相談件数：

- ・NPO活動専門相談員・職員による **490** 件 (センター355件/プラザ135件)
- ・協働コーディネーターによる **49** 件 (センター28件/プラザ21件)
- ・専門相談員(アドバイザー)による **6** 件



【相談分野内訳】



2023年度に引き続き、センター関連の相談が増加。アフターコロナの活動活発化に伴い、場としての施設の価値が高まっていると考えられます。

また、本年度は地域市民の家予約システム変更に伴う期間限定の相談窓口としてサポートを実施しております（左図・『その他』に分類）。

たとえば.....

- ・「法人格の取得をしたいけれど、どうすればよいの？」
- ・「ボランティアがしたいけれど、団体の選び方がわからない」
- ・「地域の市民活動と連携したいのだけど」
- ・「余剰・不用品などを有効活用してくれる団体はない？」

こんな内容はもちろん、市民活動に関するご相談があれば支援施設まで相談下さい！個人・組織（企業・教育機関・各種団体など）を問わず、対応させていただきます。

専門相談員による相談って？
どんな相談ができるの？



A 税務・会計・法律・IT・広報などの専門家が
相談に乘ります！初回相談無料です。
※ご利用には団体登録が必要です。

情報の収集・発信（発行物）

情報誌「F-wave（エフウェーブ）」

市民活動団体の活動紹介や、団体運営に関する知識・スキルなどを紹介

・発行頻度：月1回　・発行部数：約1,600部

・配布先：登録団体、市内NPO法人、サポーター、市内公共施設他



＼「note」にも掲載しています／

note



https://note.com/fujisawa_npo/

ボランティア情報誌「VOLUNTEERS」

支援施設に提供された、湘南藤沢エリアのボランティア募集情報を紹介

・発行頻度：年2回　・発行部数：約5,000部

・配布協力先：市内施設・学校・団体・NPO事務所・店舗他



＼ボランティア募集情報が満載！／

web版



<https://fujisawa-npo.jp/volunteers>

情報クリップ

市内および首都圏の市民活動
関連情報などを掲載



<https://fujisawa-npo.jp/pub/clip>

・発行頻度：月1回
・発行部数：約1,600部
・配布先：F-wave同様

メールマガジン

支援施設からのお知らせや、
イベント、助成金情報を掲載



<https://fujisawa-npo.jp/pub/mailmagazine>

・発行頻度：月1回+特別号
・発信先数：約3,300件
・発信対象：購読申込者

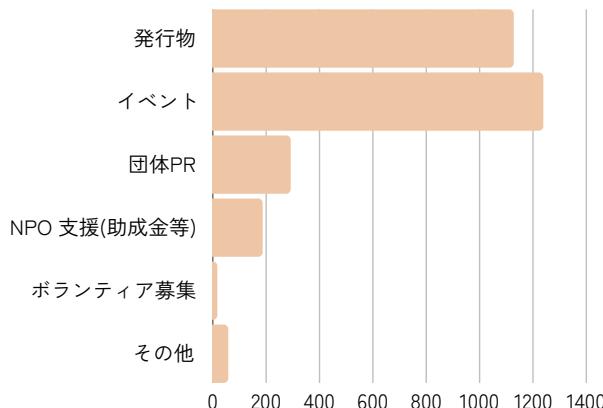
情報の収集・発信（持ち込み情報）

来館、FAX、メールなどでお寄せいただいた情報は、施設内の情報ラックに配架！
団体のチラシやイベント情報、助成金情報など、常時100件近くの情報を掲示しています。
また、藤沢市のデジタルサイネージでも情報提供しています。

収集情報：

2,920 件

【収集情報内訳】

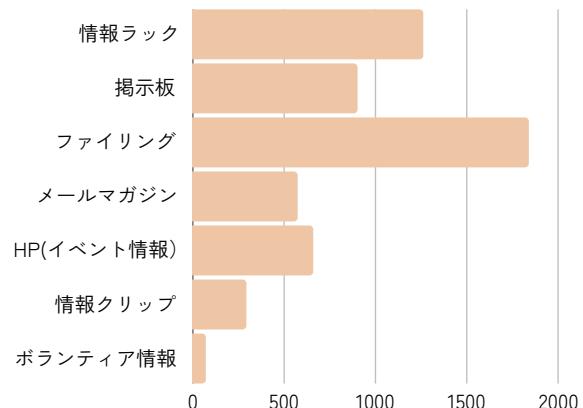


情報提供数：

5,601 件

※件数はセンター・プラザ計

【情報提供内訳】



藤沢市市民活動支援施設のデジタルサイネージ・放映イメージ。
放映時間25秒で団体の紹介ができます！

最新の助成金情報も
ここで得られます！／＼

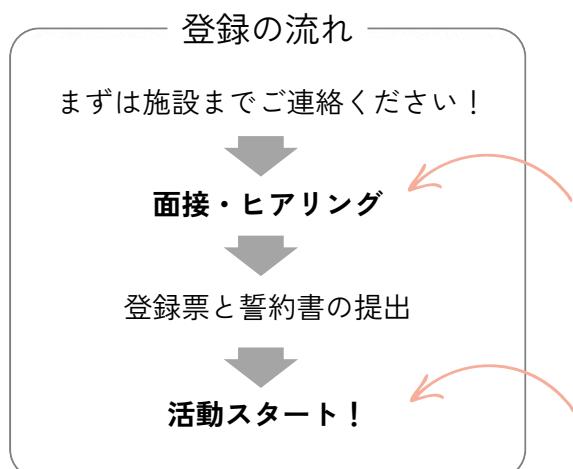
／＼団体のPRチラシや
イベント情報など盛りだくさん！／＼



支援施設でボランティアをしませんか？ (サポートクラブ活動)

サポートクラブは、施設スタッフと一緒に市民活動を支えたい方や、市民活動を直に見て知りたい方に、施設の事業などをお手伝いいただく制度です。

サポーターの皆さんには、情報誌発送などの事務作業をはじめ、IT講座の実施、各種イベントの企画・運営など、それぞれのご希望やスキルに合わせたサポートをお願いしています！



困ったことがあれば、いつでも施設のスタッフにご相談くださいね！



情報誌の封入作業



支援施設の清掃



ふじさわNPO横丁
(団体商品の販売、団体紹介冊子の配布)

現在申込み受付中の活動
はここからチェック！



<https://fujisawa-npo.jp/about/supporter>

Q サポーター登録に特典はありますか？



A 講座受講料が無料になります。
※資料代が発生する際は実費負担
施設情報誌「F-wave」やボランティア情報もお送りしています。

次年度に向けて

2024年度は国内外で大きな変化がありましたが、藤沢市内においてはコロナ禍以後、比較的平穏な時間が流れたように思います。しかしながら、公共交通機関に関する開発計画や、市内施設の複合化や建て替え計画、システム変更など、将来の藤沢に関わる動きは止まることなく進んでいます。

リモートワークの広がりや少子高齢化の進展、町内会等の地域団体の変化など、地域のありかたも様々な影響を受けながら変わり続けています。そのような中で市民活動団体も、地域の変化を感じ取るアンテナを張りながら活動を洗練・適応していくことが求められる場面が増えていくと考えられます。

2025年度の年次重点取り組み目標は「発揮 市民力が発揮できる環境をつくる」となっています。団体の地力を高める支援を行いつつ、地域の中で市民活動にどういった役割が求められているのか、改めて問い合わせとともに、その力を必要としている人々とつなげる機会づくりを模索してまいります。

藤沢市市民活動支援施設は藤沢地区・六会地区に所在していますが、藤沢市内各地区ごとに環境や課題、地理的制約が異なります。そのような地区ごとの状況を市民活動支援の中でも視野にとらえつつ、市民活動団体が地域の中にいる人々にとってより重要な存在となれるよう、今後も支援活動を続けてまいります。

\\Webサイト、SNSもぜひチェックしてください！//



支援施設Webサイト
<https://fujisawa-npo.jp/>



推進センターX
(旧Twitter)
[@f_npoc](https://twitter.com/f_npoc)



支援施設YouTube
https://www.youtube.com/channel/UCGI0NW_EuQT8VcoyHGQ_j7Pw

2024年度 藤沢市市民活動支援施設 管理運営事業報告書

発行／藤沢市市民活動支援施設

藤沢市市民活動推進センター
〒251-0052 藤沢市藤沢1031 アーバンセンター藤沢2F
電話：0466-54-4510 FAX：0466-54-4516

藤沢市市民活動支援施設



藤沢市市民活動プラザむつあい
〒252-0813 藤沢市亀井野4-8-1 六会市民センター2F
電話/FAX：0466-81-0222

<https://fujisawa-npo.jp/>
